

UPS ソリューションズ社製
シャットダウンボックスによる
インサイトテクノロジー社製 Insight Qube の
シャットダウン検証結果

2023年5月16日
UPS ソリューションズ株式会社
技術営業部

目次

1.	はじめに.....	2
2.	検証概要.....	2
3.	シャットダウン検証 Insight Qube.....	3
	3-1. シャットダウン手順.....	3
	3-2. シャットダウン/起動 構成図 (シャットダウンボックスから実行の例)	3
	3-3. シャットダウン検証結果.....	4
4.	復電時の起動検証.....	5
	4-1. 起動手順.....	5
	4-2. 起動検証結果	6
5.	まとめ	7
6.	UPS ソリューションズのサービス.....	8
7.	お問い合わせ先	9

1. はじめに

本ドキュメントは、株式会社インサイトテクノロジー様ご協力の元、UPS ソリューションズ社製の以下製品にて、SSH を使用した Insight Qube Gen.4 のシャットダウン及び起動を行った検証レポートになります。

- ・ シャットダウンボックス「UPSS-SDB03-V」(以下 SDB)

Insight Qube Gen.4 は以下の OS にて検証実施いたしました。

- ・ OS : Oracle Linux Server release 8.6
- ・ Oracle Linux Virtualization Manager(以下 OLVM) : Oracle Linux Server release 8.6

2. 検証概要

日時 : 2023 年 5 月 10 日

場所 : 株式会社インサイトテクノロジー

東京都渋谷区恵比寿 1-19-19 恵比寿ビジネスタワー12F

ご協力 : 株式会社インサイトテクノロジー

■ HW 構成

検証機器	型式、バージョン	台数
UPS ソリューションズ社製 シャットダウンボックス	UPSS-SDB03-V ver.1.27	1
インサイトテクノロジー社製 HCI Insight Qube Gen.4	OS : Oracle Linux Server release 8.6 OLVM : Oracle Linux Server release 8.6	3

3. シャットダウン検証 Insight Qube

3-1. シャットダウン手順

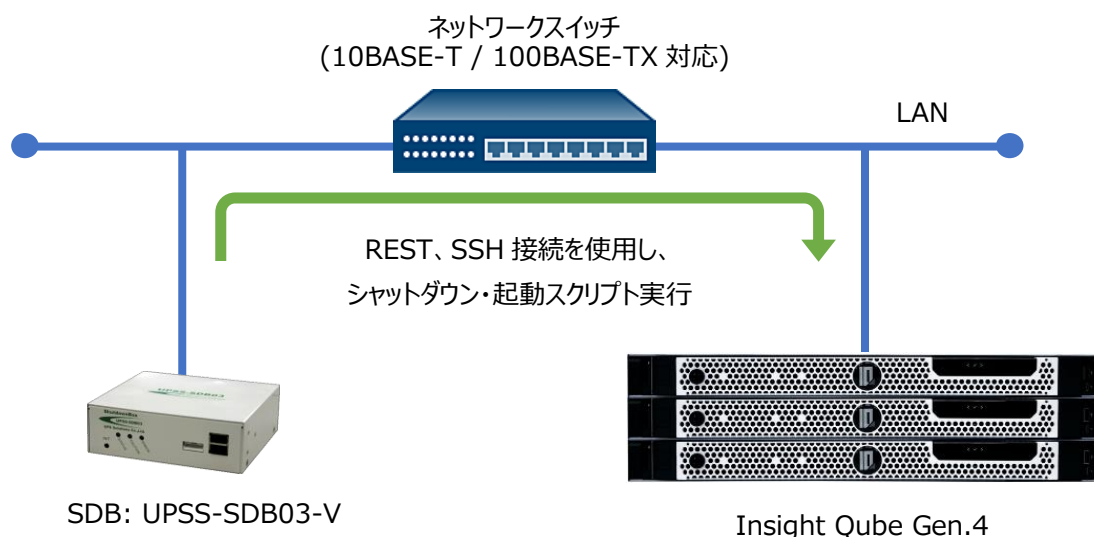
○シャットダウン

SDB から Insight Qube に対してネットワーク経由でログインしシャットダウンスクリプトを実行することで、シャットダウンが正常に行われ機器が停止することを確認します。

SDB のスクリプト実行内容は下記の通りです。

順序	接続先	接続方式	ログインユーザー	指示内容
1	OLVM	REST	admin@internal	仮想マシンをシャットダウン(順序指定可能)
2	KVM	SSH	root	OLVM をメンテナンスモードへ移行 → OLVM のシャットダウン
3	KVM	SSH	root	ステータス確認、HA 制御、ストレージ機能から分離
4	KVM	SSH	admin	Protection Domain の無効化、ステータス確認
5	KVM	SSH	root	Insight Qube ノードをシャットダウン

3-2. シャットダウン/起動 構成図 (シャットダウンボックスから実行の例)



3-3. シャットダウン検証結果

SDB は Insight Qube のシャットダウンに成功しました。

製品	シャットダウン実行結果
UPSS-SDB03-V	正常

各手順の結果と所要時間は以下の通りです。

手順	処理内容	正常性確認方法	所要時間(累計)
1	仮想マシンをシャットダウン(順序指定可能)	OLVM Web 画面より 確認	2分 29秒
2	OLVM をメンテナンスモードへ移行 → OLVM のシャットダウン	vm-status コマンドの 実行結果から確認	4分 34秒
3	ステータス確認、HA 制御、ストレージ機能から分離	vm-status コマンドの 実行結果から確認	7分 20秒
4	Protection Domain の無効化、ステータス確認	scli -query_all コマンド の実行結果から確認	7分 58秒
5	Insight Qube ノードをシャットダウン	筐体前面の 電源 LED 消灯を確認	13分 00秒
			合計 13分 00秒

- シャットダウン所要時間はデータ量、プロセス数等により大きく変動します。

4. 復電時の起動検証

4-1. 起動手順

○起動

SDB から Insight Qube に対してネットワーク経由でログインし起動スクリプトを実行することで、起動が正常に行われることを確認します。

SDB のスクリプト実行内容は下記の通りです。

順序	接続先	接続方式	ログインユーザー	指示内容
1	iDRAC	SSH	root	iDRAC へホスト起動指示
2	KVM	SSH	admin	Protection Domain の有効化、ステータス確認
3	KVM	SSH	root	OLVM の起動指示、ステータス確認
4	KVM	SSH	root	OLVM のメンテナンスモード解除 ステータス確認
5	OLVM	REST	admin@internal	仮想マシンの起動(順序指定可能)

4-2. 起動検証結果

SDB は Insight Qube の起動に成功しました。

製品	起動実行結果
UPSS-SDB03-V	正常

各手順の結果と所要時間は以下の通りです。

手順	処理内容	正常性確認方法	所要時間(累計)
1	iDRAC からの ping 応答を確認し、 iDRAC へホスト起動指示 サービスが上がるまで固定時間待機	筐体 LED で確認	13 分 48 秒
2	Protectin Domain の有効化 ステータス確認	scli-query_all コマンド の実行結果から確認	14 分 24 秒
3	OLVM の起動指示、ステータス確認	vm-status コマンドの 実行結果から確認	19 分 34 秒
4	OLVM のメンテナンスモード解除、ステータス確認	vm-status コマンドの 実行結果から確認	20 分 07 秒
5	仮想マシンを起動(順序指定可能)	OLVM Web 画面より 確認	29 分 00 秒
			合計 29 分 00 秒

- 起動所要時間はデータ量、プロセス数等により大きく変動します。

5. まとめ

本検証にて、SDB を用いた、
Insight Qube Gen.4 の自動シャットダウン/自動起動が可能であることを確認しました。

本構成においては、別途物理サーバ不要、VM などへのスクリプト作成・配置が不要となります。

処理	結果
Insight Qube Gen.4 自動シャットダウン	○
Insight Qube Gen.4 自動起動	○

UPS のバックアップ時間は 20 分以上程度を推奨します。
(停電確認時間 2 分+シャットダウン 13 分+UPS 停止時間 1 分)

※仮想マシンのシャットダウン順序付けにより必要な時間が変動致します。

※仮想マシン名に全角文字が含まれるとうまくシャットダウンできない可能性があります。

UPS ソリューションズ社製 UPS、UPSS-SP/ST シリーズ(Advanced NW Board II 搭載)や、
UPSS-A3/X2(LAN I/F カード搭載)など豊富なラインナップからシャットダウンボックスと組合せ、
最適な構成にてご提案することが可能です。

6. UPS ソリューションズのサービス

UPS ソリューションズは下記の対応を行います。



※現地下見、事前打ち合わせは別途有償となる場合がございます。まずはご相談下さい。

※導入時は UPS ソリューションズによるシャットダウン設定、テスト作業が必須となります。

7. お問い合わせ先

UPS ソリューションズ株式会社
技術営業部 ソリューション・サービスグループ

本社

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 2-13-6 ミツボシ第 3 ビル
TEL : 03-5833-4061 FAX : 03-3861-0920

西日本支店

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島 5-3-10 タナカ・イトーピア新大阪ビル 3 階
TEL : 06-6838-4881 FAX : 06-6838-4882

中部支店

〒464-0074 名古屋市千種区仲田 2-15-12 ワークビル 4F
TEL : 052-734-9200 FAX : 052-734-9500

北海道営業所

〒060-0004 札幌市中央区北 4 条西 12-1-28 北 4 条ビル 7F
TEL : 011-280-0015 FAX : 011-280-001

九州営業所

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 2-20-15 第 7 岡部ビル 3F
TEL : 092-481-3441 FAX : 092-481-3442

E-mail: ups-sales@ups-sol.com

URL: <https://www.ups-sol.com/>

※本資料に記載されている会社名及び製品名は各社の商標または登録商標です